

美術講座 受講生募集!

締切：2025年5月2日 必着

日本・西洋の美術シリーズ

2025年 5月15日－6月12日、7月24日－8月28日
(8月14日を除く) [木曜日]

- ・講 座：全10回 10:00－11:30
 - ・講 師：北海道立近代美術館学芸員他
 - ・会 場：北海道立近代美術館 講堂
 - ・定 員：230名
 - ・受講料：7,000円 (アルテピア会員：6,000円)
- * 第2回、第7回の講義終了後、特別展の鑑賞があります。
- * 講座当日は近美コレクション、三岸所蔵品展を鑑賞できます。(裏面)
- * 道民カレッジに講座情報を登録しています。

申込方法：ホームページまたは往復はがき

- ▶ ホームページ：下記URLまたはQRコードから申し込みください。
- ▶ 往復はがき：「往信」に受講希望・氏名(ふりがな)・郵便番号・住所
電話番号・アルテピア会員の方はアルテピア会員番号
「返信」に郵便番号・住所・氏名をお書きください。

- * 申込は定員になり次第締め切ります。
 - * 受講のお知らせは5月13日(火)までにご連絡します。
 - * 受講料は講座第1回目5月15日(木)に申し受けます。
- (お預かりした個人情報は、美術講座以外に使用することはありません。)

申込・問合せ先

〒060-0003 札幌市中央区北3条西18丁目2-7 新田ビル 2F
一般社団法人 北海道美術館協力会(愛称アルテピア) 電話 011-644-4025
HP <http://www.artepia.or.jp> E-mail oubo@artepia.or.jp

[主催] 一般社団法人北海道美術館協力会
[共催] 北海道立近代美術館、北海道立三岸好太郎美術館
[後援] 札幌市、札幌市教育委員会



美術講座2025〈日本・西洋の美術シリーズ〉

回	月日	講座名	内 容	当日鑑賞できる 展覧会
1	5/15 (木)	ガイダンス / 安田侃 抽象の力 久米淳之（道立近代美術館上席専門員）	日本とイタリアで制作を続ける世界的な彫刻家、安田侃。故郷美唄の「安田侃彫刻美術館 アルテピアッツァ美唄」や、北海道各地に置かれる彫刻を取り上げつつ、白い大理石からかたちを生んだ想いに迫ります。	近美コレクション ・三岸美術館 アーモンドの瞳の女 美神たちのまなざし
2	5/22 (木)	歌川国芳 “奇想”の浮世絵師 光岡幸治（道立近代美術館上席専門員）	歌川国芳は、武者絵をはじめ役者絵、美人画、歴史画や洋風の風景画、さらに戯画、風刺画など幅広い画題に取り組みました。江戸末期、幕藩体制崩壊へと向かう時期に生みだされた国芳ワールドの魅力を“奇想”をキーワードに読み解きます。（特別展鑑賞）	近美コレクション ・三岸美術館 アーモンドの瞳の女 美神たちのまなざし
3	5/29 (木)	フランシスコ・デ・ゴヤが見つめた「リアル」 村山美波（道立近代美術館学芸員）	スペインの画家フランシスコ・デ・ゴヤ(1746-1828)は、華やかな王族の肖像などを手掛けた一方で、人間の醜さを浮き彫りにするような作品も遺しました。多岐にわたる作品を、ゴヤが見つめた「リアル」という視点から読み解きます。	近美コレクション ・三岸美術館 アーモンドの瞳の女 美神たちのまなざし
4	6/5 (木)	19世紀パリ：サーカスがやってきた！ クールベからロートレックまで 柴 勤（前小川原脩記念美術館長）	馬の曲乗りや空中ブランコ、道化師など、現在のサーカスの原型は19世紀の中頃まで遡ります。娯楽が少なかった時代、サーカスはダンスやピクニックと並んで市民の最大級の楽しみとなりました。芸術家たちが見た華やかな世界の表と裏、芸人の深い生き様を紹介します。	近美コレクション ・三岸美術館 アーモンドの瞳の女 美神たちのまなざし
5	6/12 (木)	阿弥陀如来とその美術 熊谷麻美（道立近代美術館学芸員）	阿弥陀如来は、極楽浄土の教主として盛んに信仰され、浄土変相図や来迎図など、独特の表現様式を確立しました。経典の内容や、当時の社会についての解説も交えながら、日本の阿弥陀如来像の変遷をたどります。	近美コレクション ・三岸美術館 アーモンドの瞳の女 美神たちのまなざし
6	7/24 (木)	エミール・ガレの世界 村山史歩（道立近代美術館学芸副館長）	エミール・ガレ(1846～1904)は、19世紀末のヨーロッパで花開いた装飾芸術運動「アール・ヌーヴォー」を代表する工芸家です。ガレの歩みと作品の魅力を紹介します。	近美コレクション ・三岸美術館 三岸節子生誕120年 永遠のオマージュ好 太郎と節子
7	7/31 (木)	金閣・銀閣 相国寺展 禅文化の名宝と美～若冲を中心に～ 土岐美由紀（道立近代美術館主任学芸員）	三代将軍・足利義満が創建した相国寺は、禅宗とともに中国の水墨画や茶の湯を取り入れ、室町文化の隆盛を牽引しました。寺院の名宝から、足利将軍コレクションの「東山御物」や仏教美術の数々、そして江戸期に相国寺と深い縁のあった伊藤若冲の作品や画業を紹介します。（特別展鑑賞）	近美コレクション ・三岸美術館 三岸節子生誕120年 永遠のオマージュ好 太郎と節子
8	8/7 (木)	スペイン宮廷とティツィアーノ ハプスブルク家の美術パトロネージ 河本真夕（道立近代美術館学芸員）	スペイン・ハプスブルク王家のカルロス1世(在位1516-1556)をはじめとする歴代国王が愛好した画家ティツィアーノ(1490頃-1576)を中心に、宮廷という最大のパトロン(庇護者)を得るための、芸術家たちの戦略についてお話しします。	近美コレクション ・三岸美術館 三岸節子生誕120年 永遠のオマージュ好 太郎と節子
9	8/21 (木)	マリー・ローランサン いま、あらためてひとく魅力。 藤原乃里子（道立近代美術館企画推進課長）	20世紀前半に活躍した女性画家マリー・ローランサン(1883～1956)。優しく柔和な作風は日本でも人気を博してきました。その生涯と作品を紹介し、ローランサン芸術の魅力を一ひとときまします。	近美コレクション ・三岸美術館 三岸節子生誕120年 永遠のオマージュ好 太郎と節子
10	8/28 (木)	ガラス造形家イワタリリ 蘭部容子（道立近代美術館リサーチ推進課長）	イワタリリは、日本を代表するガラス作家の一人です。キャスト(casting)による大型の彫刻的作品と、宙吹きによる透明感や色彩あふれる器。創作の両面からイワタリリ芸術の造形世界を紹介します。	近美コレクション ・三岸美術館 三岸節子生誕120年 永遠のオマージュ好 太郎と節子

* 講座日程・内容が都合により変更になる場合があります。